

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和元年度

岡山県笠岡市

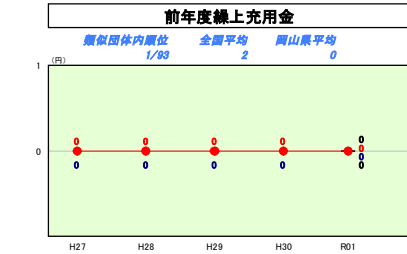
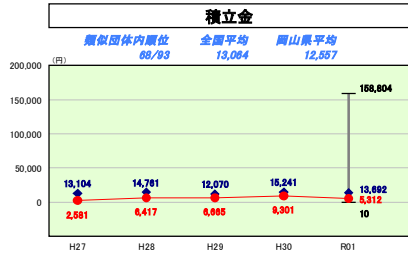
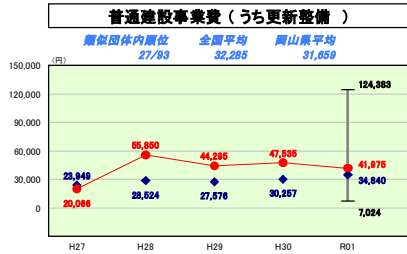
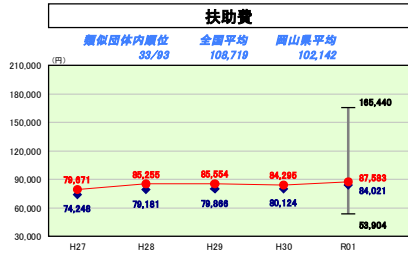
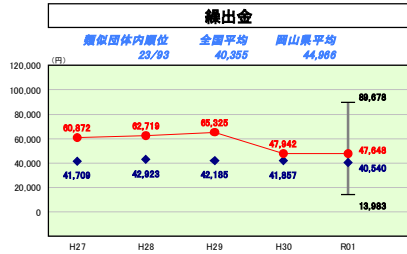
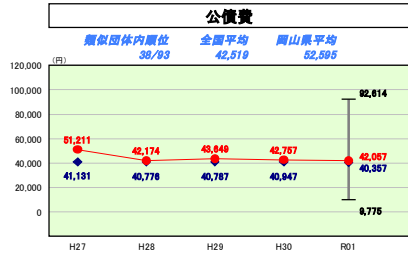
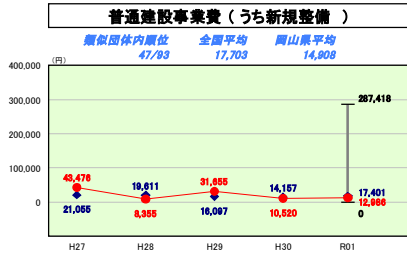
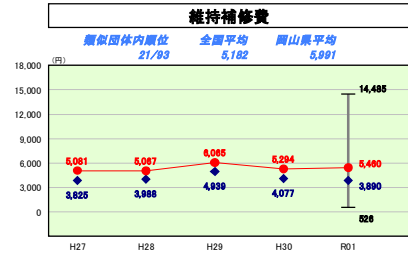
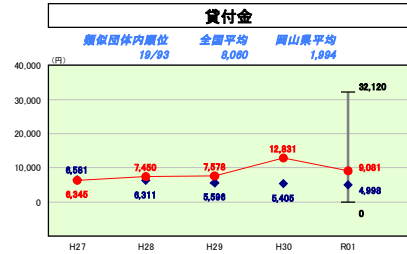
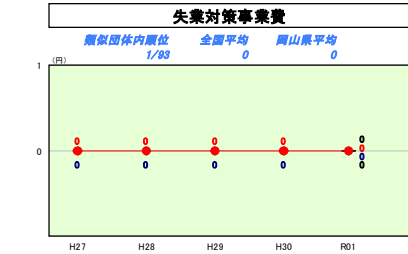
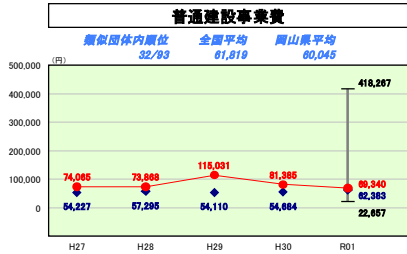
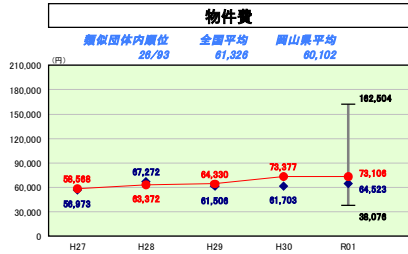
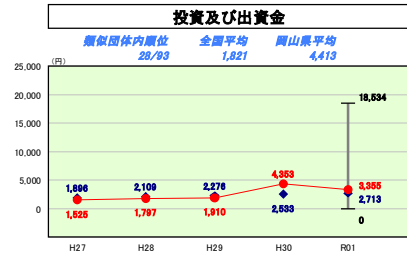
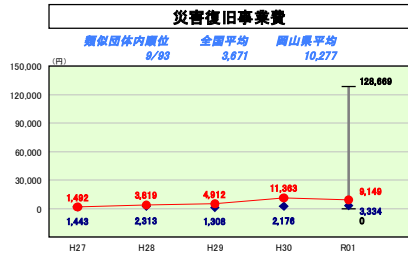
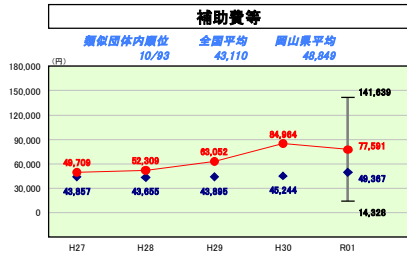
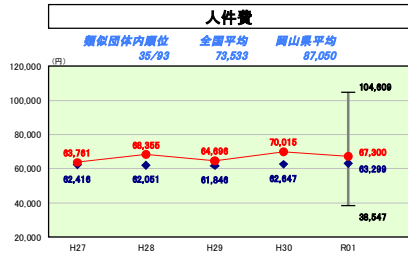
人口	47,923 人(2.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	47,379 人(2.1.1現在)	連続実質赤字比率	- %
面積	136.24 km ²	実質公債費比率	6.8 %
歳入総額	24,372,989 千円	将来負担比率	63.7 %
歳出総額	23,916,338 千円	市町村類型	H27 II-2 H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 R01 II-2
実収支	509,989 千円	(年度毎)	H30 II-2 R01 II-2
標準財政規模	12,994,920 千円		
地方債現在高	25,956,280 千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体とする。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

人件費は退職手当が前年度比32.4%の減となり、1人当たり2,715円の減となっている。物件費は墓園造成等委託料の影響により前年度比2.0%の増となり、1人当たり271円の増となっている。維持補修費は道路橋梁維持補修費の影響により前年度比1.5%の増となり、1人当たり166円の増となっている。扶助費は障害福祉サービス事業の影響により前年度比2.2%の増となり、1人当たり3,288円の増となっている。補助費等は被災農業者向け経営体育成支援事業補助金や下水道事業会計補助金の影響により前年度比10.2%の減となり、1人当たり7,373円の減となっている。普通建設事業費は道路橋梁長寿命化事業や自然災害防止事業が増となったが、畜産・酪農収益力強化設備等特別対策事業補助金の影響により前年度比16.2%の減となり、新規整備については1人当たり2,466円の増、更新整備については1人当たり5,560円の減となっている。公債費は長期借入金元金の減などにより前年度比3.2%の減となり、1人当たり700円の減となっている。積立金はふるさと笠岡基金や公共施設整備費引当基金の積立により前年度比43.8%の減となり、1人当たり3,989円の減となっている。積立金については類似団体平均の2分の1以下と低い水準になっている。